

Q0001

投資評価・リスク

タグ：ITガバナンス

用語：ITガバナンスの定義と役割（確認パターン1）

「ITガバナンス」と「内部統制」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み
- B. 組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み
- C. 意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任
- D. 重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標

答え・解説

Q0001 正答：B. 組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み
解説：「ITガバナンス」は、組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0002

投資評価・リスク

タグ：ITガバナンス

用語：ITガバナンスの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み」

- A. 内部統制
- B. 説明責任
- C. KRI
- D. ITガバナンス

答え・解説

Q0002 正答：D. ITガバナンス

解説：「ITガバナンス」は、組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0003

投資評価・リスク

タグ：ITガバナンス

用語：ITガバナンスの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「ITガバナンス」は、組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0003 正答：○

解説：「ITガバナンス」は、組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0004

投資評価・リスク

タグ：ITガバナンス

用語：ITガバナンスの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「ITガバナンス」は、統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0004 正答：×

解説：×です。「ITガバナンス」は組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み。問題文の説明は「モニタリング」の内容で、統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0005

投資評価・リスク

タグ：ITガバナンス

用語：ITガバナンスの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 内部統制
- B. ITガバナンス
- C. 説明責任
- D. KRI

答え・解説

Q0005 正答：B. ITガバナンス

解説：「ITガバナンス」は、組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0006

投資評価・リスク

タグ：ITガバナンス

用語：ITガバナンスの定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「ITガバナンス」と関連用語「説明責任」を整理する。「ITガバナンス」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標
- B. 意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任
- C. 業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み
- D. 組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み

答え・解説

Q0006 正答：D. 組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み

解説：「ITガバナンス」は、組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0007

投資評価・リスク

タグ：コーポレートガバナンス

用語：コーポレートガバナンスの定義と役割（確認パターン1）

「コーポレートガバナンス」と「職務分掌」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制
- B. 災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画
- C. 組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書
- D. 企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み

答え・解説

Q0007 正答：D. 企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み

解説：「コーポレートガバナンス」は、企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0008

投資評価・リスク

タグ：コーポレートガバナンス

用語：コーポレートガバナンスの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み」

- A. 職務分掌
- B. コーポレートガバナンス
- C. BCP
- D. 方針

答え・解説

Q0008 正答：B. コーポレートガバナンス

解説：「コーポレートガバナンス」は、企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0009

投資評価・リスク

タグ：コーポレートガバナンス

用語：コーポレートガバナンスの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「コーポレートガバナンス」は、企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0009 正答：○

解説：「コーポレートガバナンス」は、企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0010

投資評価・リスク

タグ：コーポレートガバナンス

用語：コーポレートガバナンスの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「コーポレートガバナンス」は、法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0010 正答：×

解説：×です。「コーポレートガバナンス」は企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み。問題文の説明は「コンプライアンス」の内容で、法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0011

投資評価・リスク

タグ：コーポレートガバナンス

用語：コーポレートガバナンスの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 職務分掌
- B. BCP
- C. 方針
- D. コーポレートガバナンス

答え・解説

Q0011 正答：D. コーポレートガバナンス

解説：「コーポレートガバナンス」は、企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0012

投資評価・リスク

タグ：コーポレートガバナンス

用語：コーポレートガバナンスの定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「コーポレートガバナンス」と関連用語「BCP」を整理する。「コーポレートガバナンス」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書
- B. 企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み
- C. 災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画
- D. 権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制

答え・解説

Q0012 正答：B. 企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み

解説：「コーポレートガバナンス」は、企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0013

投資評価・リスク

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの定義と役割（確認パターン1）

「リスクマネジメント」と「牽制」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制
- B. リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動
- C. 事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動
- D. 複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書

答え・解説

Q0013 正答：B. リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動

解説：「リスクマネジメント」は、リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0014

投資評価・リスク

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動」

- A. 牽制
- B. BCM
- C. 標準
- D. リスクマネジメント

答え・解説

Q0014 正答：D. リスクマネジメント

解説：「リスクマネジメント」は、リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0015

投資評価・リスク

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「リスクマネジメント」は、リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0015 正答：○

解説：「リスクマネジメント」は、リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0016

投資評価・リスク

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「リスクマネジメント」は、意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0016 正答：×

解説：×です。「リスクマネジメント」はリスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動。問題文の説明は「説明責任」の内容で、意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0017

投資評価・リスク

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 牽制
- B. リスクマネジメント
- C. BCM
- D. 標準

答え・解説

Q0017 正答：B. リスクマネジメント

解説：「リスクマネジメント」は、リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0018

投資評価・リスク

タグ：リスクマネジメント

用語：リスクマネジメントの定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「リスクマネジメント」と関連用語「BCM」を整理する。「リスクマネジメント」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書
- B. 事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動
- C. 一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制
- D. リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動

答え・解説

Q0018 正答：D. リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動

解説：「リスクマネジメント」は、リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0019

投資評価・リスク

タグ：リスク回避

用語：リスク回避の定義と役割（確認パターン1）

「リスク回避」と「承認統制」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制
- B. 災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析
- C. 作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書
- D. リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応

答え・解説

Q0019 正答：D. リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応

解説：「リスク回避」は、リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0020

投資評価・リスク

タグ：リスク回避

用語：リスク回避の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応」

- A. 承認統制
- B. リスク回避
- C. BIA
- D. 手順

答え・解説

Q0020 正答：B. リスク回避

解説：「リスク回避」は、リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0021

投資評価・リスク

タグ：リスク回避

用語：リスク回避の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「リスク回避」は、リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0021 正答：○

解説：「リスク回避」は、リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0022

投資評価・リスク

タグ：リスク回避

用語：リスク回避の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「リスク回避」は、災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0022 正答：×

解説：×です。「リスク回避」はリスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応。問題文の説明は「BCP」の内容で、災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0023

投資評価・リスク

タグ：リスク回避

用語：リスク回避の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 承認統制
- B. BIA
- C. 手順
- D. リスク回避

答え・解説

Q0023 正答：D. リスク回避

解説：「リスク回避」は、リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0024

投資評価・リスク

タグ：リスク回避

用語：リスク回避の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「リスク回避」と関連用語「BIA」を整理する。「リスク回避」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書
- B. リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応
- C. 災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析
- D. 重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制

答え・解説

Q0024 正答：B. リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応

解説：「リスク回避」は、リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0025

投資評価・リスク

タグ：リスク低減

用語：リスク低減の定義と役割（確認パターン1）

「リスク低減」と「モニタリング」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動
- B. 発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応
- C. 外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動
- D. 評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方

答え・解説

Q0025 正答：B. 発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応

解説：「リスク低減」は、発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0026

投資評価・リスク

タグ：リスク低減

用語：リスク低減の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応」

- A. モニタリング
- B. 委託先管理
- C. 継続的改善
- D. リスク低減

答え・解説

Q0026 正答：D. リスク低減

解説：「リスク低減」は、発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0027

投資評価・リスク

タグ：リスク低減

用語：リスク低減の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「リスク低減」は、発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0027 正答：○

解説：「リスク低減」は、発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0028

投資評価・リスク

タグ：リスク低減

用語：リスク低減の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「リスク低減」は、事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0028 正答：×

解説：×です。「リスク低減」は発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応。問題文の説明は「BCM」の内容で、事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0029

投資評価・リスク

タグ：リスク低減

用語：リスク低減の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. モニタリング
- B. リスク低減
- C. 委託先管理
- D. 継続的改善

答え・解説

Q0029 正答：B. リスク低減

解説：「リスク低減」は、発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0030

投資評価・リスク

タグ：リスク低減

用語：リスク低減の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「リスク低減」と関連用語「委託先管理」を整理する。「リスク低減」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方
- B. 外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動
- C. 統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動
- D. 発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応

答え・解説

Q0030 正答：D. 発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応

解説：「リスク低減」は、発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0031

投資評価・リスク

タグ：リスク移転

用語：リスク移転の定義と役割（確認パターン1）

「リスク移転」と「コンプライアンス」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方
- B. サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書
- C. 組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み
- D. 保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応

答え・解説

Q0031 正答：D. 保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応

解説：「リスク移転」は、保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0032

投資評価・リスク

タグ：リスク移転

用語：リスク移転の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応」

- A. コンプライアンス
- B. リスク移転
- C. SLA
- D. ITガバナンス

答え・解説

Q0032 正答：B. リスク移転

解説：「リスク移転」は、保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0033

投資評価・リスク

タグ：リスク移転

用語：リスク移転の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「リスク移転」は、保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0033 正答：○

解説：「リスク移転」は、保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0034

投資評価・リスク

タグ：リスク移転

用語：リスク移転の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「リスク移転」は、災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0034 正答：×

解説：×です。「リスク移転」は保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応。問題文の説明は「BIA」の内容で、災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0035

投資評価・リスク

タグ：リスク移転

用語：リスク移転の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. コンプライアンス
- B. SLA
- C. ITガバナンス
- D. リスク移転

答え・解説

Q0035 正答：D. リスク移転

解説：「リスク移転」は、保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0036

投資評価・リスク

タグ：リスク移転

用語：リスク移転の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「リスク移転」と関連用語「SLA」を整理する。「リスク移転」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み
- B. 保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応
- C. サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書
- D. 法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方

答え・解説

Q0036 正答：B. 保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応

解説：「リスク移転」は、保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0037

投資評価・リスク

タグ：リスク受容

用語：リスク受容の定義と役割（確認パターン1）

「リスク受容」と「説明責任」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任
- B. 許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応
- C. 重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標
- D. 企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み

答え・解説

Q0037 正答：B. 許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応

解説：「リスク受容」は、許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0038

投資評価・リスク

タグ：リスク受容

用語：リスク受容の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応」

- A. 説明責任
- B. KRI
- C. コーポレートガバナンス
- D. リスク受容

答え・解説

Q0038 正答：D. リスク受容

解説：「リスク受容」は、許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0039

投資評価・リスク

タグ：リスク受容

用語：リスク受容の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「リスク受容」は、許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0039 正答：○

解説：「リスク受容」は、許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0040

投資評価・リスク

タグ：リスク受容

用語：リスク受容の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「リスク受容」は、外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0040 正答：×

解説：×です。「リスク受容」は許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応。問題文の説明は「委託先管理」の内容で、外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0041

投資評価・リスク

タグ：リスク受容

用語：リスク受容の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 説明責任
- B. リスク受容
- C. KRI
- D. コーポレートガバナンス

答え・解説

Q0041 正答：B. リスク受容

解説：「リスク受容」は、許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0042

投資評価・リスク

タグ：リスク受容

用語：リスク受容の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「リスク受容」と関連用語「KRI」を整理する。「リスク受容」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み
- B. 重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標
- C. 意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任
- D. 許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応

答え・解説

Q0042 正答：D. 許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応

解説：「リスク受容」は、許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0043

投資評価・リスク

タグ：リスクアペタイト

用語：リスクアペタイトの定義と役割（確認パターン1）

「リスクアペタイト」と「BCP」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画
- B. 組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書
- C. リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動
- D. 組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準

答え・解説

Q0043 正答：D. 組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準

解説：「リスクアペタイト」は、組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0044

投資評価・リスク

タグ：リスクアペタイト

用語：リスクアペタイトの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準」

- A. BCP
- B. リスクアペタイト
- C. 方針
- D. リスクマネジメント

答え・解説

Q0044 正答：B. リスクアペタイト

解説：「リスクアペタイト」は、組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0045

投資評価・リスク

タグ：リスクアペタイト

用語：リスクアペタイトの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「リスクアペタイト」は、組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0045 正答：○

解説：「リスクアペタイト」は、組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0046

投資評価・リスク

タグ：リスクアペタイト

用語：リスクアペタイトの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「リスクアペタイト」は、サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0046 正答：×

解説：×です。「リスクアペタイト」は組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準。問題文の説明は「SLA」の内容で、サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0047

投資評価・リスク

タグ：リスクアペタイト

用語：リスクアペタイトの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. BCP
- B. 方針
- C. リスクマネジメント
- D. リスクアペタイト

答え・解説

Q0047 正答：D. リスクアペタイト

解説：「リスクアペタイト」は、組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0048

投資評価・リスク

タグ：リスクアペタイト

用語：リスクアペタイトの定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「リスクアペタイト」と関連用語「方針」を整理する。「リスクアペタイト」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動
- B. 組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準
- C. 組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書
- D. 災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画

答え・解説

Q0048 正答：B. 組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準

解説：「リスクアペタイト」は、組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0049

投資評価・リスク

タグ：内部統制

用語：内部統制の定義と役割（確認パターン1）

「内部統制」と「BCM」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動
- B. 業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み
- C. 複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書
- D. リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応

答え・解説

Q0049 正答：B. 業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み

解説：「内部統制」は、業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0050

投資評価・リスク

タグ：内部統制

用語：内部統制の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み」

- A. BCM
- B. 標準
- C. リスク回避
- D. 内部統制

答え・解説

Q0050 正答：D. 内部統制

解説：「内部統制」は、業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0051

投資評価・リスク

タグ：内部統制

用語：内部統制の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「内部統制」は、業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0051 正答：○

解説：「内部統制」は、業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0052

投資評価・リスク

タグ：内部統制

用語：内部統制の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「内部統制」は、重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0052 正答：×

解説：×です。「内部統制」は業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み。問題文の説明は「KRI」の内容で、重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0053

投資評価・リスク

タグ：内部統制

用語：内部統制の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. BCM
- B. 内部統制
- C. 標準
- D. リスク回避

答え・解説

Q0053 正答：B. 内部統制

解説：「内部統制」は、業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0054

投資評価・リスク

タグ：内部統制

用語：内部統制の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「内部統制」と関連用語「標準」を整理する。「内部統制」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応
- B. 複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書
- C. 事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動
- D. 業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み

答え・解説

Q0054 正答：D. 業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み

解説：「内部統制」は、業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0055

投資評価・リスク

タグ：職務分掌

用語：職務分掌の定義と役割（確認パターン1）

「職務分掌」と「BIA」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析
- B. 作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書
- C. 発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応
- D. 権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制

答え・解説

Q0055 正答：D. 権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制

解説：「職務分掌」は、権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0056

投資評価・リスク

タグ：職務分掌

用語：職務分掌の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制」

- A. BIA
- B. 職務分掌
- C. 手順
- D. リスク低減

答え・解説

Q0056 正答：B. 職務分掌

解説：「職務分掌」は、権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0057

投資評価・リスク

タグ：職務分掌

用語：職務分掌の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「職務分掌」は、権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0057 正答：○

解説：「職務分掌」は、権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0058

投資評価・リスク

タグ：職務分掌

用語：職務分掌の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「職務分掌」は、組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0058 正答：×

解説：×です。「職務分掌」は権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制。問題文の説明は「方針」の内容で、組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0059

投資評価・リスク

タグ：職務分掌

用語：職務分掌の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. BIA
- B. 手順
- C. リスク低減
- D. 職務分掌

答え・解説

Q0059 正答：D. 職務分掌

解説：「職務分掌」は、権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0060

投資評価・リスク

タグ：職務分掌

用語：職務分掌の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「職務分掌」と関連用語「手順」を整理する。「職務分掌」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応
- B. 権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制
- C. 作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書
- D. 災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析

答え・解説

Q0060 正答：B. 権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制

解説：「職務分掌」は、権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0061

投資評価・リスク

タグ：牽制

用語：牽制の定義と役割（確認パターン1）

「牽制」と「委託先管理」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動
- B. 一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制
- C. 評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方
- D. 保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応

答え・解説

Q0061 正答：B. 一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制

解説：「牽制」は、一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0062

投資評価・リスク

タグ：牽制

用語：牽制の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制」

- A. 委託先管理
- B. 継続的改善
- C. リスク移転
- D. 牽制

答え・解説

Q0062 正答：D. 牽制

解説：「牽制」は、一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0063

投資評価・リスク

タグ：牽制

用語：牽制の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「牽制」は、一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0063 正答：○

解説：「牽制」は、一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0064

投資評価・リスク

タグ：牽制

用語：牽制の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「牽制」は、複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0064 正答：×

解説：×です。「牽制」は一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制。問題文の説明は「標準」の内容で、複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0065

投資評価・リスク

タグ：牽制

用語：牽制の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 委託先管理
- B. 牽制
- C. 継続的改善
- D. リスク移転

答え・解説

Q0065 正答：B. 牽制

解説：「牽制」は、一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0066

投資評価・リスク

タグ：牽制

用語：牽制の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「牽制」と関連用語「継続的改善」を整理する。「牽制」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応
- B. 評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方
- C. 外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動
- D. 一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制

答え・解説

Q0066 正答：D. 一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制

解説：「牽制」は、一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0067

投資評価・リスク

タグ：承認統制

用語：承認統制の定義と役割（確認パターン1）

「承認統制」と「SLA」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書
- B. 組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み
- C. 許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応
- D. 重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制

答え・解説

Q0067 正答：D. 重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制

解説：「承認統制」は、重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0068

投資評価・リスク

タグ：承認統制

用語：承認統制の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制」

- A. SLA
- B. 承認統制
- C. ITガバナンス
- D. リスク受容

答え・解説

Q0068 正答：B. 承認統制

解説：「承認統制」は、重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0069

投資評価・リスク

タグ：承認統制

用語：承認統制の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「承認統制」は、重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0069 正答：○

解説：「承認統制」は、重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0070

投資評価・リスク

タグ：承認統制

用語：承認統制の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「承認統制」は、作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0070 正答：×

解説：×です。「承認統制」は重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制。問題文の説明は「手順」の内容で、作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0071

投資評価・リスク

タグ：承認統制

用語：承認統制の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. SLA
- B. ITガバナンス
- C. リスク受容
- D. 承認統制

答え・解説

Q0071 正答：D. 承認統制

解説：「承認統制」は、重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0072

投資評価・リスク

タグ：承認統制

用語：承認統制の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「承認統制」と関連用語「ITガバナンス」を整理する。「承認統制」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応
- B. 重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制
- C. 組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み
- D. サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書

答え・解説

Q0072 正答：B. 重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制

解説：「承認統制」は、重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0073

投資評価・リスク

タグ：モニタリング

用語：モニタリングの定義と役割（確認パターン1）

「モニタリング」と「KRI」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標
- B. 統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動
- C. 企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み
- D. 組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準

答え・解説

Q0073 正答：B. 統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動

解説：「モニタリング」は、統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0074

投資評価・リスク

タグ：モニタリング

用語：モニタリングの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動」

- A. KRI
- B. コーポレートガバナンス
- C. リスクアペタイト
- D. モニタリング

答え・解説

Q0074 正答：D. モニタリング

解説：「モニタリング」は、統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0075

投資評価・リスク

タグ：モニタリング

用語：モニタリングの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「モニタリング」は、統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0075 正答：○

解説：「モニタリング」は、統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0076

投資評価・リスク

タグ：モニタリング

用語：モニタリングの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「モニタリング」は、評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0076 正答：×

解説：×です。「モニタリング」は統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動。問題文の説明は「継続的改善」の内容で、評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0077

投資評価・リスク

タグ：モニタリング

用語：モニタリングの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. KRI
- B. モニタリング
- C. コーポレートガバナンス
- D. リスクアペタイト

答え・解説

Q0077 正答：B. モニタリング

解説：「モニタリング」は、統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0078

投資評価・リスク

タグ：モニタリング

用語：モニタリングの定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「モニタリング」と関連用語「コーポレートガバナンス」を整理する。「モニタリング」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準
- B. 企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み
- C. 重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標
- D. 統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動

答え・解説

Q0078 正答：D. 統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動

解説：「モニタリング」は、統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合がありますが、定義上の中心目的が異なります。

Q0079

投資評価・リスク

タグ：コンプライアンス

用語：コンプライアンスの定義と役割（確認パターン1）

「コンプライアンス」と「方針」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書
- B. リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動
- C. 業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み
- D. 法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方

答え・解説

Q0079 正答：D. 法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方

解説：「コンプライアンス」は、法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0080

投資評価・リスク

タグ：コンプライアンス

用語：コンプライアンスの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方」

- A. 方針
- B. コンプライアンス
- C. リスクマネジメント
- D. 内部統制

答え・解説

Q0080 正答：B. コンプライアンス

解説：「コンプライアンス」は、法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0081

投資評価・リスク

タグ：コンプライアンス

用語：コンプライアンスの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「コンプライアンス」は、法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0081 正答：○

解説：「コンプライアンス」は、法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0082

投資評価・リスク

タグ：コンプライアンス

用語：コンプライアンスの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「コンプライアンス」は、組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0082 正答：×

解説：×です。「コンプライアンス」は法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方。問題文の説明は「ITガバナンス」の内容で、組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0083

投資評価・リスク

タグ：コンプライアンス

用語：コンプライアンスの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 方針
- B. リスクマネジメント
- C. 内部統制
- D. コンプライアンス

答え・解説

Q0083 正答：D. コンプライアンス

解説：「コンプライアンス」は、法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0084

投資評価・リスク

タグ：コンプライアンス

用語：コンプライアンスの定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「コンプライアンス」と関連用語「リスクマネジメント」を整理する。「コンプライアンス」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み
- B. 法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方
- C. リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動
- D. 組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書

答え・解説

Q0084 正答：B. 法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方

解説：「コンプライアンス」は、法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0085

投資評価・リスク

タグ：説明責任

用語：説明責任の定義と役割（確認パターン1）

「説明責任」と「標準」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書
- B. 意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任
- C. リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応
- D. 権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制

答え・解説

Q0085 正答：B. 意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任

解説：「説明責任」は、意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0086

投資評価・リスク

タグ：説明責任

用語：説明責任の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任」

- A. 標準
- B. リスク回避
- C. 職務分掌
- D. 説明責任

答え・解説

Q0086 正答：D. 説明責任

解説：「説明責任」は、意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0087

投資評価・リスク

タグ：説明責任

用語：説明責任の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「説明責任」は、意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0087 正答：○

解説：「説明責任」は、意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0088

投資評価・リスク

タグ：説明責任

用語：説明責任の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「説明責任」は、企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0088 正答：×

解説：×です。「説明責任」は意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任。問題文の説明は「コーポレートガバナンス」の内容で、企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0089

投資評価・リスク

タグ：説明責任

用語：説明責任の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 標準
- B. 説明責任
- C. リスク回避
- D. 職務分掌

答え・解説

Q0089 正答：B. 説明責任

解説：「説明責任」は、意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0090

投資評価・リスク

タグ：説明責任

用語：説明責任の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「説明責任」と関連用語「リスク回避」を整理する。「説明責任」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制
- B. リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応
- C. 複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書
- D. 意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任

答え・解説

Q0090 正答：D. 意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任

解説：「説明責任」は、意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0091

投資評価・リスク

タグ：BCP

用語：BCPの定義と役割（確認パターン1）

「BCP」と「手順」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書
- B. 発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応
- C. 一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制
- D. 災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画

答え・解説

Q0091 正答：D. 災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画

解説：「BCP」は、災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0092

投資評価・リスク

タグ：BCP

用語：BCPの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画」

- A. 手順
- B. BCP
- C. リスク低減
- D. 牽制

答え・解説

Q0092 正答：B. BCP

解説：「BCP」は、災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0093

投資評価・リスク

タグ：BCP

用語：BCPの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「BCP」は、災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0093 正答：○

解説：「BCP」は、災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0094

投資評価・リスク

タグ：BCP

用語：BCPの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「BCP」は、リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0094 正答：×

解説：×です。「BCP」は災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画。問題文の説明は「リスクマネジメント」の内容で、リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0095

投資評価・リスク

タグ：BCP

用語：BCPの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 手順
- B. リスク低減
- C. 牽制
- D. BCP

答え・解説

Q0095 正答：D. BCP

解説：「BCP」は、災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0096

投資評価・リスク

タグ：BCP

用語：BCPの定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「BCP」と関連用語「リスク低減」を整理する。「BCP」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制
- B. 災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画
- C. 発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応
- D. 作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書

答え・解説

Q0096 正答：B. 災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画

解説：「BCP」は、災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0097

投資評価・リスク

タグ：BCM

用語：BCMの定義と役割（確認パターン1）

「BCM」と「継続的改善」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方
- B. 事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動
- C. 保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応
- D. 重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制

答え・解説

Q0097 正答：B. 事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動

解説：「BCM」は、事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0098

投資評価・リスク

タグ：BCM

用語：BCMの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動」

- A. 継続的改善
- B. リスク移転
- C. 承認統制
- D. BCM

答え・解説

Q0098 正答：D. BCM

解説：「BCM」は、事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0099

投資評価・リスク

タグ：BCM

用語：BCMの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「BCM」は、事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0099 正答：○

解説：「BCM」は、事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0100

投資評価・リスク

タグ：BCM

用語：BCMの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「BCM」は、リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0100 正答：×

解説：×です。「BCM」は事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動。問題文の説明は「リスク回避」の内容で、リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0101

投資評価・リスク

タグ：BCM

用語：BCMの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. 継続的改善
- B. BCM
- C. リスク移転
- D. 承認統制

答え・解説

Q0101 正答：B. BCM

解説：「BCM」は、事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0102

投資評価・リスク

タグ：BCM

用語：BCMの定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「BCM」と関連用語「リスク移転」を整理する。「BCM」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制
- B. 保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応
- C. 評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方
- D. 事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動

答え・解説

Q0102 正答：D. 事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動

解説：「BCM」は、事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0103

投資評価・リスク

タグ：BIA

用語：BIAの定義と役割（確認パターン1）

「BIA」と「ITガバナンス」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み
- B. 許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応
- C. 統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動
- D. 災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析

答え・解説

Q0103 正答：D. 災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析

解説：「BIA」は、災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0104

投資評価・リスク

タグ：BIA

用語：BIAの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析」

- A. ITガバナンス
- B. BIA
- C. リスク受容
- D. モニタリング

答え・解説

Q0104 正答：B. BIA

解説：「BIA」は、災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0105

投資評価・リスク

タグ：BIA

用語：BIAの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「BIA」は、災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0105 正答：○

解説：「BIA」は、災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0106

投資評価・リスク

タグ：BIA

用語：BIAの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「BIA」は、発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0106 正答：×

解説：×です。「BIA」は災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析。問題文の説明は「リスク低減」の内容で、発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0107

投資評価・リスク

タグ：BIA

用語：BIAの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. ITガバナンス
- B. リスク受容
- C. モニタリング
- D. BIA

答え・解説

Q0107 正答：D. BIA

解説：「BIA」は、災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0108

投資評価・リスク

タグ：BIA

用語：BIAの定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「BIA」と関連用語「リスク受容」を整理する。「BIA」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動
- B. 災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析
- C. 許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応
- D. 組織目標達成のためITの意思決定・監督・評価を統制する仕組み

答え・解説

Q0108 正答：B. 災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析

解説：「BIA」は、災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0109

投資評価・リスク

タグ：委託先管理

用語：委託先管理の定義と役割（確認パターン1）

「委託先管理」と「コーポレートガバナンス」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み
- B. 外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動
- C. 組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準
- D. 法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方

答え・解説

Q0109 正答：B. 外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動

解説：「委託先管理」は、外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0110

投資評価・リスク

タグ：委託先管理

用語：委託先管理の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動」

- A. コーポレートガバナンス
- B. リスクアペタイト
- C. コンプライアンス
- D. 委託先管理

答え・解説

Q0110 正答：D. 委託先管理

解説：「委託先管理」は、外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0111

投資評価・リスク

タグ：委託先管理

用語：委託先管理の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「委託先管理」は、外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0111 正答：○

解説：「委託先管理」は、外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0112

投資評価・リスク

タグ：委託先管理

用語：委託先管理の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「委託先管理」は、保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0112 正答：×

解説：×です。「委託先管理」は外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動。問題文の説明は「リスク移転」の内容で、保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0113

投資評価・リスク

タグ：委託先管理

用語：委託先管理の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. コーポレートガバナンス
- B. 委託先管理
- C. リスクアペタイト
- D. コンプライアンス

答え・解説

Q0113 正答：B. 委託先管理

解説：「委託先管理」は、外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0114

投資評価・リスク

タグ：委託先管理

用語：委託先管理の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「委託先管理」と関連用語「リスクアペタイト」を整理する。「委託先管理」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方
- B. 組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準
- C. 企業経営を適切に監督し透明性や説明責任を確保する仕組み
- D. 外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動

答え・解説

Q0114 正答：D. 外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動

解説：「委託先管理」は、外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0115

投資評価・リスク

タグ：SLA

用語：SLAの定義と役割（確認パターン1）

「SLA」と「リスクマネジメント」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動
- B. 業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み
- C. 意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任
- D. サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書

答え・解説

Q0115 正答：D. サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書

解説：「SLA」は、サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0116

投資評価・リスク

タグ：SLA

用語：SLAの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書」

- A. リスクマネジメント
- B. SLA
- C. 内部統制
- D. 説明責任

答え・解説

Q0116 正答：B. SLA

解説：「SLA」は、サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0117

投資評価・リスク

タグ：SLA

用語：SLAの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「SLA」は、サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0117 正答：○

解説：「SLA」は、サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0118

投資評価・リスク

タグ：SLA

用語：SLAの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「SLA」は、許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0118 正答：×

解説：×です。「SLA」はサービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書。問題文の説明は「リスク受容」の内容で、許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0119

投資評価・リスク

タグ：SLA

用語：SLAの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. リスクマネジメント
- B. 内部統制
- C. 説明責任
- D. SLA

答え・解説

Q0119 正答：D. SLA

解説：「SLA」は、サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0120

投資評価・リスク

タグ：SLA

用語：SLAの定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「SLA」と関連用語「内部統制」を整理する。「SLA」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 意思決定や結果について根拠を示し関係者へ説明する責任
- B. サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書
- C. 業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み
- D. リスクを特定・分析・評価し対応と監視を継続する活動

答え・解説

Q0120 正答：B. サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書

解説：「SLA」は、サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0121

投資評価・リスク

タグ：KRI

用語：KRIの定義と役割（確認パターン1）

「KRI」と「リスク回避」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応
- B. 重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標
- C. 権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制
- D. 災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画

答え・解説

Q0121 正答：B. 重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標

解説：「KRI」は、重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0122

投資評価・リスク

タグ：KRI

用語：KRIの定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標」

- A. リスク回避
- B. 職務分掌
- C. BCP
- D. KRI

答え・解説

Q0122 正答：D. KRI

解説：「KRI」は、重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0123

投資評価・リスク

タグ：KRI

用語：KRIの定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「KRI」は、重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0123 正答：○

解説：「KRI」は、重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0124

投資評価・リスク

タグ：KRI

用語：KRIの定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「KRI」は、組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0124 正答：×

解説：×です。「KRI」は重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標。問題文の説明は「リスクアペタイト」の内容で、組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0125

投資評価・リスク

タグ：KRI

用語：KRIの定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. リスク回避
- B. KRI
- C. 職務分掌
- D. BCP

答え・解説

Q0125 正答：B. KRI

解説：「KRI」は、重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0126

投資評価・リスク

タグ：KRI

用語：KRIの定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「KRI」と関連用語「職務分掌」を整理する。「KRI」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 災害や障害時にも重要業務を継続・早期復旧するための事業継続計画
- B. 権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制
- C. リスク源となる活動自体を行わないことで影響を避ける対応
- D. 重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標

答え・解説

Q0126 正答：D. 重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標

解説：「KRI」は、重大なリスクの増大兆候を早期に把握するためのリスク指標。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0127

投資評価・リスク

タグ：方針

用語：方針の定義と役割（確認パターン1）

「方針」と「リスク低減」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応
- B. 一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制
- C. 事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動
- D. 組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書

答え・解説

Q0127 正答：D. 組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書

解説：「方針」は、組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0128

投資評価・リスク

タグ：方針

用語：方針の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書」

- A. リスク低減
- B. 方針
- C. 牽制
- D. BCM

答え・解説

Q0128 正答：B. 方針

解説：「方針」は、組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0129

投資評価・リスク

タグ：方針

用語：方針の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「方針」は、組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0129 正答：○

解説：「方針」は、組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0130

投資評価・リスク

タグ：方針

用語：方針の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「方針」は、業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0130 正答：×

解説：×です。「方針」は組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書。問題文の説明は「内部統制」の内容で、業務の有効性・財務報告の信頼性・法令遵守等を合理的に確保する仕組み。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0131

投資評価・リスク

タグ：方針

用語：方針の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. リスク低減
- B. 牽制
- C. BCM
- D. 方針

答え・解説

Q0131 正答：D. 方針

解説：「方針」は、組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0132

投資評価・リスク

タグ：方針

用語：方針の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「方針」と関連用語「牽制」を整理する。「方針」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 事業継続方針の策定から訓練・改善までを継続管理する活動
- B. 組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書
- C. 一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制
- D. 発生可能性や影響度を対策によって下げるリスク対応

答え・解説

Q0132 正答：B. 組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書

解説：「方針」は、組織が目指す方向や判断原則を上位レベルで定めた文書。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0133

投資評価・リスク

タグ：標準

用語：標準の定義と役割（確認パターン1）

「標準」と「リスク移転」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応
- B. 複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書
- C. 重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制
- D. 災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析

答え・解説

Q0133 正答：B. 複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書

解説：「標準」は、複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0134

投資評価・リスク

タグ：標準

用語：標準の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書」

- A. リスク移転
- B. 承認統制
- C. BIA
- D. 標準

答え・解説

Q0134 正答：D. 標準

解説：「標準」は、複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0135

投資評価・リスク

タグ：標準

用語：標準の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「標準」は、複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0135 正答：○

解説：「標準」は、複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0136

投資評価・リスク

タグ：標準

用語：標準の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「標準」は、権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0136 正答：×

解説：×です。「標準」は複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書。問題文の説明は「職務分掌」の内容で、権限や作業を複数担当へ分け相互牽制を働かせる統制。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0137

投資評価・リスク

タグ：標準

用語：標準の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. リスク移転
- B. 標準
- C. 承認統制
- D. BIA

答え・解説

Q0137 正答：B. 標準

解説：「標準」は、複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0138

投資評価・リスク

タグ：標準

用語：標準の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「標準」と関連用語「承認統制」を整理する。「標準」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 災害等による業務停止の影響を分析し復旧優先度を決める分析
- B. 重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制
- C. 保険や契約などで損失の一部を第三者へ移すリスク対応
- D. 複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書

答え・解説

Q0138 正答：D. 複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書

解説：「標準」は、複数部門で共通して守るべき具体的な要件や基準を定めた文書。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0139

投資評価・リスク

タグ：手順

用語：手順の定義と役割（確認パターン1）

「手順」と「リスク受容」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応
- B. 統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動
- C. 外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動
- D. 作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書

答え・解説

Q0139 正答：D. 作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書

解説：「手順」は、作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0140

投資評価・リスク

タグ：手順

用語：手順の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書」

- A. リスク受容
- B. 手順
- C. モニタリング
- D. 委託先管理

答え・解説

Q0140 正答：B. 手順

解説：「手順」は、作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0141

投資評価・リスク

タグ：手順

用語：手順の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「手順」は、作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0141 正答：○

解説：「手順」は、作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0142

投資評価・リスク

タグ：手順

用語：手順の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「手順」は、一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制。

- A. ○
- B. ×

答え・解説

Q0142 正答：×

解説：×です。「手順」は作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書。問題文の説明は「牽制」の内容で、一人に処理を集中させず相互確認によって誤りや不正を抑える統制。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0143

投資評価・リスク

タグ：手順

用語：手順の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. リスク受容
- B. モニタリング
- C. 委託先管理
- D. 手順

答え・解説

Q0143 正答：D. 手順

解説：「手順」は、作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0144

投資評価・リスク

タグ：手順

用語：手順の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「手順」と関連用語「モニタリング」を整理する。「手順」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. 外部委託に伴う品質・安全・法令・継続性リスクを統制する活動
- B. 作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書
- C. 統制や施策が意図どおり機能しているか継続的・個別に評価する活動
- D. 許容範囲内と判断して追加対策を取らず保有するリスク対応

答え・解説

Q0144 正答：B. 作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書

解説：「手順」は、作業を一定品質で実施するため操作順序や方法を具体化した文書。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。

Q0145

投資評価・リスク

タグ：継続的改善

用語：継続的改善の定義と役割（確認パターン1）

「継続的改善」と「リスクアペタイト」を区別して理解する。前者の中心的な説明として最も適切なものはどれか。

- A. 組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準
- B. 評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方
- C. 法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方
- D. サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書

答え・解説

Q0145 正答：B. 評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方

解説：「継続的改善」は、評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方。用語だけでなく、この役割と適用場面を結び付けて覚えると、条件が変わる問題でも判断しやすくなります。

Q0146

投資評価・リスク

タグ：継続的改善

用語：継続的改善の定義と役割（確認パターン2）

次の説明に該当する用語はどれか。「評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方」

- A. リスクアペタイト
- B. コンプライアンス
- C. SLA
- D. 継続的改善

答え・解説

Q0146 正答：D. 継続的改善

解説：「継続的改善」は、評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方。定義の中心となる目的を押さえ、似た用語とは「何を対象にし、何を実現するか」で区別してください。

Q0147

投資評価・リスク

タグ：継続的改善

用語：継続的改善の定義と役割（確認パターン3）

次の記述は正しいか。「継続的改善」は、評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0147 正答：○

解説：「継続的改善」は、評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方。この特徴が正答の根拠です。試験では周辺用語と並べて問われやすいため、機能の違いまで整理しておくことが重要です。

Q0148

投資評価・リスク

タグ：継続的改善

用語：継続的改善の定義と役割（確認パターン4）

次の記述は正しいか。「継続的改善」は、重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制。

- A. ○
B. ×

答え・解説

Q0148 正答：×

解説：×です。「継続的改善」は評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方。問題文の説明は「承認統制」の内容で、重要な取引や変更に対し権限者の事前・事後承認を求める統制。記述は別の概念の説明を取り違えています。名称だけの暗記ではなく、対象・目的・仕組みの対応関係で確認しましょう。

Q0149

投資評価・リスク

タグ：継続的改善

用語：継続的改善の定義と役割（確認パターン5）

実務や設計で「評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方」という目的・特徴に最も直接対応する用語はどれか。

- A. リスクアペタイト
- B. 継続的改善
- C. コンプライアンス
- D. SLA

答え・解説

Q0149 正答：B. 継続的改善

解説：「継続的改善」は、評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方。実務上の目的を言い換えた問題です。中心的な機能を理解していれば、表現が変わっても正しい用語を選べます。

Q0150

投資評価・リスク

タグ：継続的改善

用語：継続的改善の定義と役割（確認パターン6）

投資評価・リスクで「継続的改善」と関連用語「コンプライアンス」を整理する。「継続的改善」自体の定義として最も適切なものはどれか。

- A. サービス提供者と利用者の間で合意するサービス水準の文書
- B. 法令・規則・社会的規範などを遵守して業務を行う考え方
- C. 組織が目標達成のため進んで受け入れるリスクの種類や水準
- D. 評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方

答え・解説

Q0150 正答：D. 評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方

解説：「継続的改善」は、評価結果や変化を基にプロセスや統制を反復して改善する考え方。この説明が最も直接的に対応します。他の選択肢は関連する場合があっても、定義上の中心目的が異なります。